

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-800	12-029	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
<b>題名 (原題/訳)</b>		
Long term alcohol intake and risk of rheumatoid arthritis in women: a population based cohort study. 女性における長期間の飲酒と関節リウマチのリスクに関するコホート研究		
<b>執筆者</b>		
Centers for Disease Control and Prevention (CDC).		
<b>掲載誌</b>		
MMWR Morb Mortal Wkly Rep. 2012 Jul 20;61(28):534-8.		
<b>キーワード</b>		
飲酒、女性、関節リウマチ、コホート研究		
<b>要 旨</b>		
<b>目的：</b> 女性における飲酒と関節リウマチ発生の関係性について解析する事を目的とする。		
<b>方法：</b> 頻回な測定を要する前向きコホート研究である。スウェーデンのマンモグラフィ検査で、対象集団はスウェーデンの中心部のコホート集団である。対象者は 1914 年から 1948 年生まれで、2003 年 1 月 1 日から 2009 年 12 月 31 日までの間に追跡された 34, 141 人の女性である。主要評価項目はスウェーデンの 2 つの国立の登録された機関によって新たに関節リウマチと診断された対象者である。飲酒に関するデータは、1987 と 1997 年に集められた。		
<b>結果：</b> 追跡調査期間 (226, 032 人年) の間に、慢性関節リウマチの 197 の症例が確認された。1 週あたり 1 杯未満しか飲まない、もしくは飲酒をしない群 (相対リスク 0.63 95%信頼区間 0.42-0.96 , P=0.04) に比較すると 1 週あたり 4 杯以上 (エタノール換算で 1 杯は 15 g とする) の飲酒をする群では慢性関節リウマチのリスクの統計的に有意であり、37%の減少がみられた飲酒の種類 (ビール、ワインと酒) は、慢性関節リウマチの危険性とは有意ではなかったが逆の関係であった。長期アルコール摂取の分析法は、1987 と 1997 年の両方の年で週当たり 3 杯以上の飲酒をすると報告した女性は飲酒をしない女性に比較すると (相対リスク 0.48, 95%信頼区間 0.24~0.98) 慢性関節リウマチの 52%が減少したという結果が示された。		
<b>まとめ：</b> 中等度の飲酒に関しては関節リウマチのリスクを下げる事が示された。		